

コペンハーゲンの おすすめスポット ①



いらっやい
ませ〜

マガジンはデンマーク最大のデパート。
デパートで食材を見るのも楽しいですよ。



デパートには よくこんな場面に出くわします...



おと物国の 魔法にかかりそう...

おと物国の兵隊さんには、サンタ夫婦に
プレゼントをあげるよ... 閉店後は
まっ歩き出してかわいんだりおしゃべりしてよ!



デンマークは、サンタクロースの国。
(北欧サンタクロースの起源地)
日本へはトナカイのソリで単身出張している
サンタクロース。地元だからか、
ここデンマークでは、奥さまの姿を
よくお見かけします。
1中のよい夫婦...

イルムは、北欧
デンマークの品揃え。
「Illums Bolighus」は
イルムスボリhusは
インテリア食品。
1は見える。

売場は赤一色!!
ギフトのチョコレートツリーのオーナメントがたい。

ご主人は
ガチョウを
抱き。
奥さまは
カゴにいっぱいの
リンゴ。

壁には中世貴族の肖像画が掛けられているかと思えば、別の壁には「相撲レスラー」が取り組んでいるキツチユな絵とダラヘスト(幸せを呼ぶスウェーデンの木彫りの馬)が描かれている。このバランスと色彩感覚! 創った人はただものではないと思う。そこへきてサーブされる食器は全てロイヤルコペンハーゲン。あの凛としたブルーフルテッドが全てを引き締めてくれるから不思議。カフェとしてはお値段もちょっと高めなので、客層も大人が多く、なんとなくセレンブ感が漂っている(意外とおじさまも商談していたりする)。だが何と言っても、中世からの建物に一步踏み込んでからのギャップが魅力だろう。買い物をちょっと節約して、優雅にお茶を楽しむ。ここは、女子のハートをわしづかみにするワンダラーンドなのです。

コペンハーゲンの中心のメインストリート、ストロイエは、北欧最大の歩行者天国。王室御用達の老舗ブランドから、最新のファッションまで、現代デンマークの文化を発信しているところだ。中世の建物の中に一步入れば、外観からは想像できないほど、北欧モダンにリノベーションされている。ストロイエだけでは、街中のあちこちで、「かっこいい」と「かわいい」が、ほどよいバランスで整い、その洗練されたセンスにはいつも驚かされる。過去と現在が融合し未来へとつないでいる魅力的な街、コペンハーゲンの中心をほんの少しご紹介しよう。
繁華街につきもののデパートは、「マガジン(Magasin)」と「イルム(Illum)」のふたつ。
まずイルムは、ストロイエの中心にあつて、その並びにロイヤルコペンハーゲンとジョージジェンセンという、デンマークを代表する二大ブランドの本店がある。どちらも建物はクラシカルな石造りで、百年以上前からここに君臨している。
私が好きなのは、このロイヤルコペンハーゲンの中庭にあるロイヤルカフェだ。クラシックとモダンとエレガント、ユニークさがミックスされ、尚かつスタイリッシュ。しかもほとんどピンク色の世界! ガラス瓶に入ったキャンデイのひとつひとつまでがいちいちかわいいのだ。
壁には中世貴族の肖像画が掛けられているかと思えば、別の壁には「相撲レスラー」が取り組んでいるキツチユな絵とダラヘスト(幸せを呼ぶスウェーデンの木彫りの馬)が描かれている。このバランスと色彩感覚! 創った人はただものではないと思う。そこへきてサーブされる食器は全てロイヤルコペンハーゲン。あの凛としたブルーフルテッドが全てを引き締めてくれるから不思議。カフェとしてはお値段もちょっと高めなので、客層も大人が多く、なんとなくセレンブ感が漂っている(意外とおじさまも商談していたりする)。だが何と言っても、中世からの建物に一步踏み込んでからのギャップが魅力だろう。買い物をちょっと節約して、優雅にお茶を楽しむ。ここは、女子のハートをわしづかみにするワンダラーンドなのです。

コペンハーゲンの
おすすめスポット②



夕方は、かなり長い行列が
できています。



KONGELIG HOFLEVERANDØR
A.C. PERCH'S
THE HANDEL
1835

日本でも、もうおなじみ A.C. PERCH'S.
「エーミーパークスどこですか?」と言っても
全く通じないのです。
「エーミーパーチ」と言ってみて下さい。
(ア)

おひとり様 要1オーダー
ポットサービス 85DKK でお済



暑い時は、
おなかいっぱい
シニアできない
もっていいよ!



拡大

店内に整列した
数々種類ある茶葉を
このスコップで何種類か
取って、このジャグで
ブレンドする

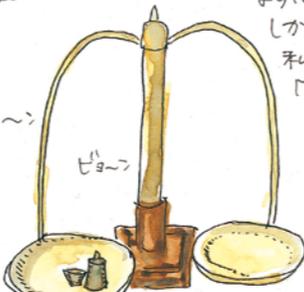


ピョ〜

分銅で
茶葉を
量ります
歴史を感じる
分銅の色。



お店さんの手元にくぎ付け!



昔ながらの天神ばかり

お茶の良さは
さらに感動!!

お店さんの手元にくぎ付け!

Hyggethe ヒュグゲティー

デンマーク人の大好きな言葉「hygge」
「くつろぎのお茶」と名付けられたこのお茶!!
こんなにキュアなクリアなお茶初めて
雑味を全く感じない清らかな
本当に驚きました。おいしーっ。

買って帰ろう。

IFのSHOPで好みを選び、その場で
ブレンドしてくれます。でも沢山のお客様。
まずは番号札を取って待つ。

しかし、デンマーク語で呼ばれます。

それは、次に番号札を取った人に

「私の順番がきたら
お返してねー。デンマーク語。
わからなくてです」とお預り
しました。

さき程飲んだ Hyggethe と
ベリー系のアロマティーが
ほいとおオーダーしました。

Huld Tempel という

お茶が出来上がった!!
これがまた素晴らしい香り。
このクオリティーの高さ。さすがの
王室御用達。うんうん。

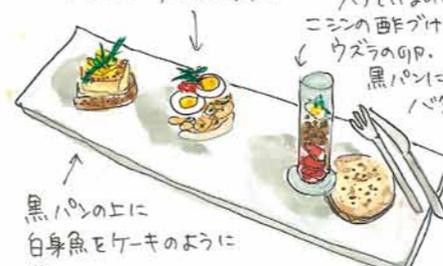
* あまりの美味で、あまりのクオリティーの高さに感動し、お茶葉1kgも大量購入してしまいました。*

コペンハーゲンの
おすすめスポット③



ここから エリガントなピンクの世界へ
THE ROYAL CAFE

エビのサラダにゆで卵と
トビツ。デリの飾り



黒パンの上に
白身魚をケーキのように
蒸したその。
レモナードソースとデイル

シンドラーの中は
入っているのは
ニシンの酢漬けと
ウズラの卵。
黒パンには
バターをのせ

1sumushi
= 45DKK
3sumushi
= 125DKK
(約2000円)
お値段も上等!!

SUMUSHI

日本のお鮎をイメージして作られた
デンマークの伝統料理 Smørrebrød
スマアブロー。通常より小ぶりサイズ。

無造作ながら 藝妓のよう
ディスプレイ。



いつもお客様が
いっぱい店内
まるで貴族の
宮のよう...
誰が居てもう感じる
この空間の魔力。
魅力的!!

あら〜。サンタさんお仕事前に洗濯ですか。

The Royal Caféの裏庭に干してありました。



サンタの絵が
描いてある
プレゼント袋

トードマークの
赤い帽子。
白いヒゲイサナのが
驚き!!



↑
くつ下赤
↑
ズボン
赤い大きな
サンタのコート

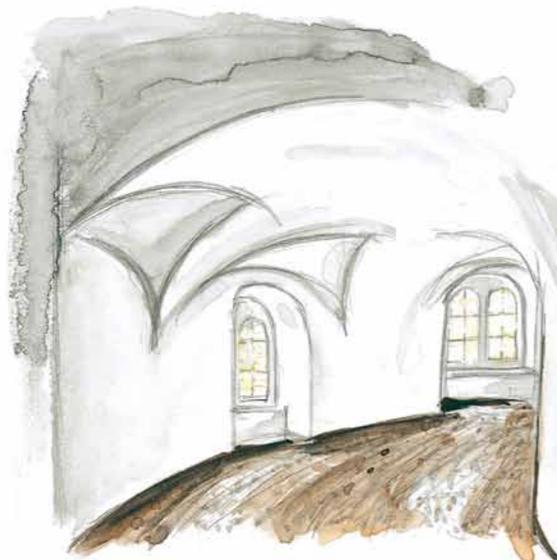
Rundetårn

ラウンドタワー

ラウンドタワーは屋上の展望台まで7回転半、緩やかにらせん状の回廊に作られている。

壁や天井はアーチ状で、どの角度に立っても風景というものがない。光と影が折り返す空間は、たまたま絵の中にも立っている錯覚を起す。カメラで二次元に写るとして、肉眼で三次元を交互に楽しむのが好きで度々来ってしまう。ぐるぐる回廊を利用してカクツウレースというユニークなレースが開催されることも。

ペンデルセンの「火打箱」というお話にも登場しています。



コペンハーゲンのおすすめスポット④



Since 1642

クリスチャン4世によって天文観測所として建てられた階段じゃないのはなぜ? 答えは下に。

Kysseboenkenからの眺めは臨場感あるトリニティ教会の大聖堂のステンドグラスがま——すぐに金鐘楼まで落ちていてとても素敵な眺めです。昔は王様とておきの眺めだったんですよ。

答え。望遠鏡など観測には必要なものを馬車で運んだから。王様も馬車で登るよね。



展望台へ昇るらせん階段の手前には special なコーナーがあります

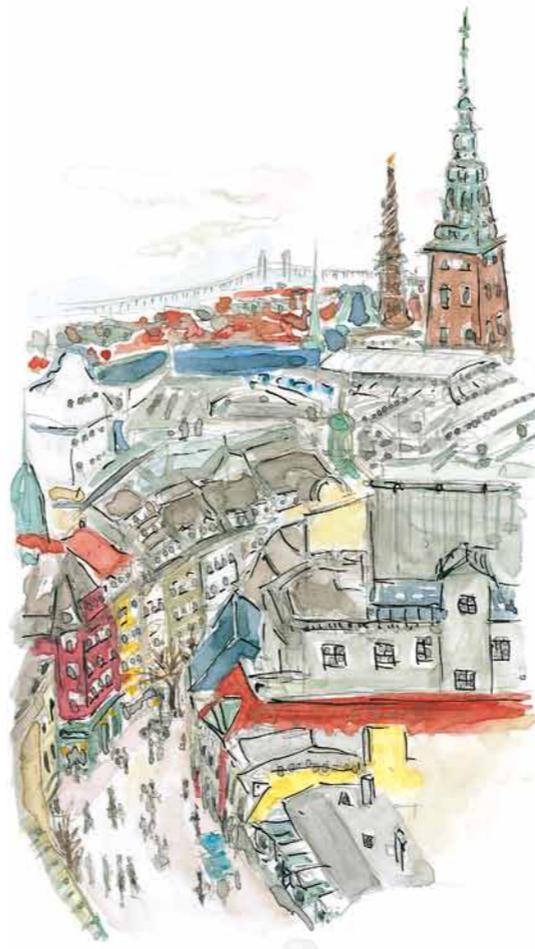
Kysseboenken

白い壁に鮮やかな赤で書かれた文字。Kysseboenken。「キスする所」です。近くにはカクツウレース。720720。元々は「音をたてない」がせい。



回廊を昇りきると最後の窓は、下向きでなく、眺めがダイレクトに見える。シンプルながら、天井のドライクラウアーや赤いベンチ。恋人たちへの演出?

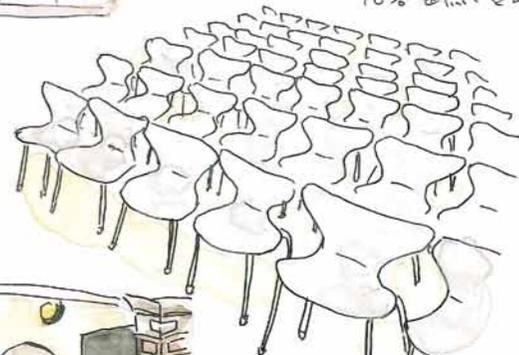
中世から愛らぬ街並み。ラウンドタワーから車窓の展望。薄曇りだったけど、遠くオアスブルグも見え。手前の尖塔はコペンハーゲン3景目に古い「聖ニコライ教会」奥のらせん状の尖塔は「救世主教会」あのらせんでパレンに登ることが出来るけれど、こちらはどなたにも見えないだろう。



The Round Tower Shop & Café



トリニティ教会の上階部分。昔々、大学図書館だった部分は現在、Artの展示室となっていて、その一角はおしゃれなCaféとShop。今回の展示は花の写真と白のセグメント。セグメントは7脚の椅子。教会のように中央通路あけて98客整然と並べました。



平日の昼間だったので、何組もの小学生、中学生が見学に来ていました。冬季は毎週火曜・水曜の夜、天白として開かれています。(※シーズン注意) 1642年から愛らぬ展望を見上げてみればいかかでしょう?

LAGKAGE HUSET

* パンカタログ *



VALNØDDE BRØD

ヴァルヌドデ ブロッド

くるみ入りの黒パン
くるみの甘味がライ麦の酸味と
おさえにくくて食べやすい黒パン



CIABATTA

縦に大きくきれいにクープが開いて
見た目からおいしい。植物性脂肪
だから、ヘルシー。露地の人も
ベジタリアンの人も安心して食べられる

VERONA BRØD

ベローナ ブロッド

ひまわりの種がいっぱい
入った白パン。
人気の定番です



VESTERHAUS BRØD

ヴェスターハウス ブロッド

色々なシード類や
雑穀類が入った
黒パン。
香ばしくて、あつちり
していて満足感の
あるおいしい



BONDE BRØD

農夫のパンという
名前が強いパン。
黒パンと白パンの
中間くらいだから
オープンサンドにも
とても合う。

ハード系と一ロに言っても、それぞれに特徴がはっきりしていて、力強く表現されている。

Wienerbrød og tærte

デニッシュとタルト

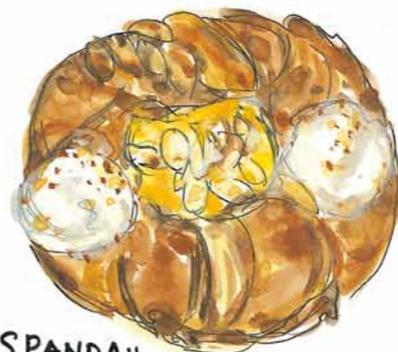
※ デニッシュパストリーはデンマークでは「Wienerbrød」ウィーンパンと呼ばれる。

* CHOKOLADE BOLLE

ショコラッド ボレ



なんと1つでも一巻の定番は
チョコレートデニッシュでしょう。
何層もの生地がサクッと
きれーにぶくらんでいます。



* SPANDAUER

スパンダウー

このパン「パン屋の看板目」という
なんとも不思議な名前。

ロバートはこれが好き。たぶん1番人気の
デニッシュなんだろう。黄色い甘いクリームに
さらにアイシング!! 私にはちよと
甘すぎました。

* JULE BOLLE

ユールボッレ



ユールボッレは
クリスマス限定のデニッシュ
レーズンやスパイスが
中に入っていて、赤いカーンは
これが好き。
お店によってはオレンジピールが
入るところもあるだろう。

* SNEGL

スネイル



スネイルは
巻きつくという
意味。
ハビツマリお

これはデンマーク版シモンロール。北欧諸国には
必ずあるシモンロール。どこも自国自慢ですが、
デンマークのは、他の国とちよと違う。デニッシュ生地と
アイシングかな。アイシング大好きよね。みんな、
これ。まん中全部アイシング!!

* SKOUBERTÆRTE

スコウバタータ



ブラックベリーとフランボワーズの
タルト。中に板チョコが入ってる。

これ。ほんつとに
おいしかったーっ!!
重量感のあるぷりぷりした
タルト生地は食べごたえが
あるのに、パイリュモカスタードも

甘すぎない。その上、ベリーが新鮮で太粒。
さわやかな酸味とチョコのアクセントがきいて
絶妙のコンビネーションでした。

コパンハーゲンの
おすすめスポット⑤

クリスマス気分を
高めくれる
馬車がいました。



古本屋さんの
ウィンドウディスプレイ



ニットやアンティークの
生地など、素敵なお
素材を組み合わ
せた手作り子供服
Crém de la
Crém à la Edgar
クレーム・ラ・クレム・
ア・ラ・エドガールは
子供服モード界を
リードする
おしゃれな人気店
ウィンドウは
おとぼけ
スーパーズ
いっぱい!!

人の多さは去年と変わらないけど、なにかが 違うな...
と思ったら、そうそう、今年はストロイエの通りを
結ぶモミの葉の飾りがたいよ。
気のせいかな、イルミネーションも少ないから、去年より
地味な印象を受けます。
なんでも、現在開催中の「COP15」に伴う省エネなどの
お金もエネルギーも節約モードで世界各国から
つこまれないようにしてるんぞって。



コパンハーゲンのおすすめスポット⑥

コパンっ子に人気のパン屋



LAGKAGEHUSET ラウケーフセツ

コパンハーゲンに住んでいる人に、どのパン屋がおいしいか
聞くと、まっとうほとんどの方が、「ラウケーのパンは最高!!」と
答えるはず。わざわざ行くの買いたいのパン、遠くから
買いに来ている人も... そのおかげは、21と22の冬に作られる
石窯焼きのパン。素材も厳選されたオーガニック、
香り、味、見た目、手ざわり、焼き上がったパンのはぜ音、パンには
こだわりを持つデンマーク人の至福を満足させてくれる
パン屋さんです。もちろんデンマーク人じゃなくても、
まちがいたく、おいしい!! というはず。なんとして
日本に持って帰りたい!! 本気で考えましたもん。

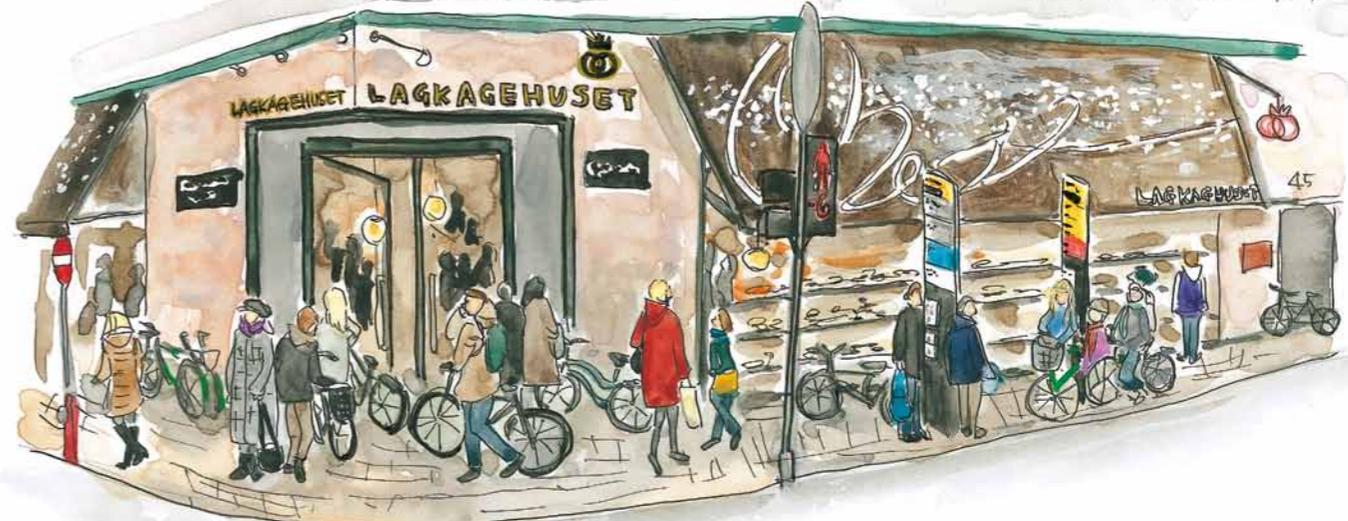
ハード系のパンはもちろんのこ。デニッシュパストリーや、タルトも
おいしいと評判です。

ウィンドウ越しに見えるタルトは、いちごやベリー類がこぼれる程
のっぺり、食欲をそそられる。

いつ行っても人、人、人でごった返してしまいが、整理券を取って
順番を待ち、呼び出されるから大丈夫。デンマーク語が
わからなくてもデジタル表示があるから大丈夫。
カフェも併設されていて、イートインもできます。救世主委員会や
クリスチャンアパに行くと、絶対立ち寄りたいたいパン屋。

「ラウケーフセツ」福岡にもあったらいいな...

今回は、カーンとロバートにお気に入りのおすすめメモに書いて
もらって、おつかいのように「これ下さい!!」と店員さんに
メモを渡しました。購入したパンのカタログ勝手に作りましたよ。



必死の形相で、時間と戦いながら買いつけをして、郵便局が締まる前に！ といつも慌ただしかったので気にならなかったけど、今回の旅で気がついたことがある。

それは、石畳ってこんなに歩きにくかったんだということ。今までは、汚れてもいい服、着回せる服、どれだけ歩いても疲れない靴を選んでいたので、仕事のない今回は、ちよつと服にも気がつかつてみたかった。すると、少しヒールのある靴は、石の表面の丸みで「ぐりん！」、石と石の隙間に「ズボーン」。まっすぐ歩けないではないか。

コペンハーゲンの女性たちは、どんな靴をはいているのか!? ファッションナブルな人が多いストロイエで見回すと、冬はブーツの人がほとんど。機能性重視のブーツではなく、ヒールのあるおしゃれブーツが多い。単に慣れの問題なのか。

どの時代も、女性には美しくありたいと思うもの。コペンハーゲンの女性は小物使いも上手でセンスよく、長身で姿勢よく闊歩する姿は本当に美しい(ちなみに男性にはおしゃれな人があんまりいない……)。

どうやって、あんなにカッコ良くはなれないが、石畳が歩きづらいことを悟られぬように、ゆっくり歩く。すると、今まで通り過ぎていたステキな景色が見えてきた。



明るいうちに
タワーに登ってみたいの
らせんの通路は。
光と影が折り返す
美しさを楽しめます。
眺望も素晴らしい
おやすめのラウンドタワー。



こんなクリスマスツリー
見つけたよ!!



インテリア&デザインショップに
置いてあったのは。
廃材で出来たクリスマスツリー
オーナメントも電球もたしには
シンプルでスタイリッシュ!
エコ時代のクリスマスツリー。

ニコニコ楽しく、クルクル回わいて。
奏でてはるものは。
手回し式のパイプオルガンのような?
移動式オルゴール?
温かいメロデーが
街に響きます。
おじさん風邪
ひかずにね。



Stroget
Shoppingのあいまに...

滞在中、屋台を見かけたたび。
つい買ってしまった
焼きアーモンド...
『ノーンデックメツラ』!!
あとひき罪なやつ。
色んなとろろ買って
味くらべてしてみたところ
おやすめ No.1は。
Magasinの入口(花売り場側)の
メガネの大きいおにいてんの。
*この人じゃないです。
アーモンドの粒の質と砂糖に
秘密があるのか!?
カリッとクランチ感が最高。



これにハマった!!
砂糖を煮詰めて、アーモンドに
からめたあとひき Sweets.
Brandte Mandler



コペンハーゲンのおすすめスポット⑦
土曜の夜はチボリハ



16時過ぎ、蒼い空に建物がシルエットに変わると、コペンハーゲンが一番美しい時間

建物は、イルミネーションで白くまばゆく輝きを増してくる

でも...

赤い壁にわらわは屋根のクリスマスマーケットが建ち並びます。軒下には個別に小さな小屋で、ほのかにこぼれる明かりも。ニッセがストロベリーをみているようで、クリスマスのムードを盛り上げます



湯気がほこほこ入場まで冷えた体を温めてくれるのはgløgg.

とこぞこぞに置かれた焚火で手を温めましょう!

マーケットで売っているものは、手袋やマフラーや靴に色とりどりなランタン。



おろろ三つ編にしたハートのリース。Itzのクリスマスツリーに飛入り本がデコレーション。



ニッセの王国へ行くミニトロッコ。



葉がすべて落ちた樹には無数のハートのランタナ!!

チボリ公園はコペンハーゲンの心のふるさとと言われている。チボリが開園するのは、四月から九月の暖かく輝いている季節とクリスマスの前後一ヶ月だけ。遊園地だけど、日本の遊園地とは少し違う。

刺激的な絶叫マシンがあるわけではなく、子どもや若者はもちろん、おじいちゃん、おばあちゃんまで楽しめる。園内のあちこちにあるステージでは、バンド演奏やサーカス、パントマイムのショーまで行われていて、本格的なレストランの数も圧倒的だ。

おじいちゃん、おばあちゃんが手をつないで歩いていたり、めったにしない外食を家族や友人と楽しんだり、老若男女、刺激ではなく平和を求めていることがわかる。

ハイテクではない小さな観覧車がぐるぐるともものすごいスピードで回転していたり、夢のようなメリーゴーランド、ニッセ(小人)の国を巡るアトラクションも、熊の毛の帽子をかぶった兵隊さんの行進も、こどもの頃に絵本で見たような世界で、どこかノスタルジックではほえましい。おもちゃ箱をひっくり返したようだ。

家族で、友人で、恋人で、どんなシチュエーションでものんびり楽しめるのがチボリだ。

チボリは、少しづつ夜風が冷たくなる頃、花火とともに閉園し、コペンハーゲンの夏は終わる。

人びとに季節はめぐることを思わせる、そのせつなさこそが、愛され続ける理由なのかもしれない。





Nyhavn

ここにも赤い壁の
クリスマスマーケットが
建ち並びます。
運河に碇泊中の
船の支柱にも
クリスマスリースが
飾られています。



ここぞ みたてのは...

JULEBRYG SHOP

全2 Tuborg のあの
ビール 2 本 goods !!
すごい。ここに オリジナル
パイタの あり たくさん。
Sexy は パンツ は 売れ筋!
ほんとに かわいい
お宝 ねえ♡



大鳥が 昇っています。
地 下 から 暖かい
蒸気が 上って くるから。



午前中 だけ だ
また 人は まばら

KONGENS NYTORV

コンゼンス ニュー トロ ム スケート リング に 変身。
スケート 靴 を 借り る 列 に 並ぶ 若者 たち
ほんとに 中。高生... ほんとに 中。
マジ 滑走 する おじさん 1 名 アリ。

シューズ
レンタル 料 は
40 DKK / 1h
(約 700 円)

イマジの きた
スピード タイプ と
1-マル タイプ から
選べる みたい です。



コペンハーゲンの
おすすめ スポット ⑧

昔々、北欧では、先に紹介した「ニッセ」と「トムテ」がヤギに乗ってクリスマスプレゼントを配っていたという言い伝えがある(アドベントの回にご紹介したワラでできたヤギ、ユールポックがそうです)。

サンタクロースの起源は、キリスト教で聖ニコラウスの善行を讃えたものとされているが、現代の私たちが知るサンタクロースの衣装は、このニッセやトムテの赤い服に、とんがり帽子が加わって、絵やイラストで伝えられたとも言われている。

北欧各国には「サンタクロース郵便局」があり、世界中の子どもたちからサンタクロース宛てた手紙が届けられている。フィンランドのサンタクロース郵便局は北極圏のロバニエミにあり、オーロラにトナカイ、そしてサンタクロースに出会える村として有名。

また毎年七月、コペンハーゲン郊外のデューハウンバッケンでは「世界サンタクロース会議」なるものが開催されていて、世界中から集まったサンタクロースに会うことができる。会議では「トナカイをつないでおく場所が減った」「女性サンタのスカートが短すぎる」など、自国のクリスマスの現状と問題が大マジメに議論されている。そうで、世界一平和な国際会議とも言われている。

「ホウ! ホウ!」の発声や煙突登りなど、グリーンランド国際サンタクロース協会の厳しいテストに合格したサンタクロースにのみ参加が認められ(日本人サンタもいるらしい)、会議の他、ショーやパレードなど、大勢のニッセたちもお手伝いする夏の大会(アドベント)として賑わっている。

北欧に伝わる民話とキリスト教の伝承が交わり、ニッセとサンタクロースは今も世界中の子どもたちに夢と希望を与え続けている。